

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
1	伊藤清市 委員	資料2	<p>「2(2)勾当台公園地下駐車場との機能連携」(資料4_P8にも関連)</p> <p>公園地下駐車場と新本庁舎地下駐車場の連携はバリアフリーの面、地上の歩行者の安全面からもぜひ実現していただきたいと思えます。</p> <p>ただ、現在公園地下駐車場から地下鉄へのアクセスするには、駐車場のエレベーターで地上に上がり、地下鉄のエレベーターに乗り換えて駅構内に行く必要があります。その間が地下で接続すれば、新本庁舎—公園地下駐車場—地下鉄駅構内とトライアングルで通行できるようになり私たちの利便性が高まります。ご検討のほどお願いします。</p>	<p>基本計画において、新本庁舎地下階と勾当台公園地下駐車場及び地下鉄勾当台公園駅を接続する方向で進めており、設計等において引き続き検討させていただきます。</p>
2	高山秀樹 委員	資料2	<p>「3(1)新本庁舎の専有面積の考え方」</p> <p>集密書架の導入とのことですが、建替えにあわせ保管資料のデジタル化は検討されないのでしょうか。</p>	<p>本庁舎建替整備に併せた文書のデジタル化に関しては、今後、関係部署との協議を行うなど検討してまいります。</p>

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
3	石井 敏 委員	資料4 目次	各章及び節の関係性をうまく図化できると分かりやすいかと思います。 全体構成が、骨格となる部分と具体的な部分の区別が分かりにくいので、 <u>報告書の全体(章構成)を図化できればよい</u> かと思います。	より分かりやすい報告書となるよう、構成図を作成し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
4	錦 織 真 也 委員	資料4 1ページ	「1 仙台市役所新本庁舎の目指す方向性」 ・最初の文章で、「歴史的」「歴史」の言葉が多い気がします。歴史を踏まえて基本計画が構想されたような印象になってしまうように思います。特に、「勾当台公園や市役所前の噴水は…」のところは、今回の基本計画に関わるような内容でしょうか。 ・ <u>基本構想のコンセプトの列挙、基本計画で話し合った流れのようなものをもう少し入れていただいた方がよい</u> のではないのでしょうか。もしくは、「はじめに」というページを入れていただいて、経緯を示す文章を入れていただけないでしょうか。 ・ <u>委員会において、ラウンドテーブルやシンポジウム等、市民の意見を広くいろいろなレベルで聞く機会を持つというプロセスは重要なように思います。このプロセスを記載してはいただけないでしょうか。</u> ・また、委員会では、敷地の配置と棟数の検討には時間も回も費やし、ある幅を持たせた結論に到達したことはひとつの成果であると認識しております。それだけ、敷地と棟数にまつわる街並や低層部の広場の位置づけに関しては、今回の建て替えの重要な要素であると思っております。こういった決定プロセスの中で <u>どういったことを重視していったか、何を問題意識として、またどのような将来への展望があって優先すべきことを選択していったか、</u> ということは、報告書に記載いただいて、基本設計に関わる方へ伝わるようにしていった方がよいのではないのでしょうか。	本文の記載内容を見直し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
5	齋 藤 敦 子 委員	資料4 1ページ	「1 仙台市役所新本庁舎の目指す方向性」 歴史をふまえることは重要ですが、委員会でもよく話されていたのは、将来どうありたいか、という部分だと思えます。 「…このような勾当台地区における歴史をふまえ、新本庁舎は勾当台地区における行政機能を継続し、周辺の様々な公共施設と連携しながら、市民と一緒にまちづくりを続けていくべきです。」という、べき論にも違和感がありました。 書きたいことは分かりますが、昭和→平成→令和の時代となり、将来の行政機関としてのビジョンが欲しいところです。もちろん、それを市民協働で進めていく、ということになるのではないのでしょうか。	本文の記載内容を見直し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
6	恒松良純 委員	資料4 4ページ	「2-2-②災害対策本部の設置・機能強化、災害時における議会・行政の業務継続性の強化」 昨今のコロナのような状況への配慮などを追記すると良いと思います。(衛生面の対応とか)	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
7	伊藤清市 委員	資料4 4ページ	「2-3 利便性」 ユニバーサルデザイン実現のためには計画段階から当事者が参画し、できる限り(もしくは最大限)当事者の意向が反映されるよう整備すること。 と追加していただきたいと思います。	本文の記載内容を見直し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
8	齋藤敦子 委員	資料4 9ページ	「その他外部空間の動線計画検討に当たっての留意点」 P8にも「公共交通機関での来庁を促進すること」とありましたが、大規模イベント以外に市庁舎周辺を歩く人が少ないようです。 私も何度か歩いてみましたが、もっとウォーカブルなデザインが必須だと思います。 健康のためにも歩ける街を目指して欲しいです。(ご存知のようにニューヨーク、パリ、コペンハーゲンなど、車道を歩道に変えることで市民が健康になり、街に賑わいが生まれています。)	基本計画において、一番町商店街及び北四番丁方面からの歩行者双方に対する回遊性、利便性を向上させるよう、敷地内広場の整備を行っていくこととしており、引き続き今後行う低層部での事業可能性調査や設計において検討いたします。
9	佐藤健 委員	資料4 10ページ	「4 新本庁舎の棟数、配置、高さ、形状及び設備に関すること」 「4-1 新本庁舎の棟数、配置、高さ、形状について」 さまざまな観点からの総合判断として、1棟整備とする方向に異論はありません。 一方で、BCPの観点から、高性能でありながら新庁舎が何らかの要因によって機能を失う、または低下する方が一の状況を想定し、災害対策本部の代替施設とその計画があることがわかれば、市民に安心感を持って頂けるものと思います。 ただし、セキュリティ配慮も関係すると思いますので、報告書での取り上げ方は事務局に一任致します。 分庁舎、仮庁舎が分散していたことで、業務効率が悪かった一方で、結果としてリスク分散になっていましたが、新庁舎の整備に伴い、リスク集中する傾向にあると思いますので、「高い安全性の確保」に加えて、代替施設を含むBCPも踏まえた基本整備方針であることが望ましいと考えます。	本文の記載内容を見直し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
10	石井 敏 委員	資料4 10ページ	佐藤委員からの意見ともつながります。私も1棟高層案に異論はありません。ただし、リスク分散や災害時対応など考えても、分棟(完全に分離せずとも低層共用・中層以上で分棟など)が全くない案でもないと、今でも思っています。 今回の諸条件を考えると、1棟高層案となるのでしょうか、 <u>1棟高層化の抱える課題も明確にしておくこと、それら(たとえば非常時リスク)に対する備えが記載できないか</u> と思います。	本文の記載内容を見直し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
11	山浦 正井 委員	資料4 11ページ	「図1 新本庁舎の配置の考え方」 ・この図は、あくまでも1つの考え方(案)を示したものでしょうが、この案では庁舎西側に車寄せが設けられているようにも見え、玄関口がはっきりしていません。 ・P7の敷地内広場の「向き」で記載されているように、あるいはP20の「4-4-4 市民利用・情報発信機能」のなかで「・・・1階ロビーについては、・・・表敬訪問等のイベントに活用できるよう・・・」などの記載も併せて考えれば、基本的には車でお越しになる来賓や表敬訪問者などを迎える玄関は、庁舎の「顔・正面」として南側にしっかり位置付けるべきではないかと思います。 ・いずれにしても、「東北の中枢を担う都市として、東北の魅力を発信」(P3)する市の本庁舎にふさわしい玄関・正面として整備されることが望まれます。	表敬訪問時の玄関、車寄せ等の取扱いについて、今後の設計の中で具体の検討を進めてまいります。
12	高山 秀樹 委員	資料4 11ページ	「図1 新本庁舎の配置の考え方」 正面玄関がどこになるかはわかりませんが、車で来られるVIP等が使用する、ある意味もう一つの市庁舎の顔にあたります。裏口からのお客様のお迎えはあり得ないので、場合によっては、地下駐車場に車寄せを設置するのも一案かと存じます。	表敬訪問時の玄関、車寄せ等の取扱いについて、今後の設計の中で具体の検討を進めてまいります。
13	姥浦 道生 委員	資料4 12ページ	「4-2 新本庁舎に集約する組織と職員数」 表の増減要因ですが、わかりやすく時系列的なイメージ図を入れてはいかがでしょうか？ 恐らくは短期的には増加、中長期的には減少？ピーク時は(特に会議室は)外も使う場合も、など？	本文の記載内容を見直し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
14	高木理恵 委員	資料4 16ページ	「4-4-2(2) ウェルビーイングの実現」 「快適な室内環境を保つため、タスクアンビエント照明等の導入を検討する」とありますが、光環境だけでなく、熱空気環境の重要度は高いので、空調換気設備の表現を追加できないでしょうか。	本文の記載内容を見直し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
15	恒松良純 委員	資料4 22ページ	「5-2 機能別棟内配置に伴うセキュリティ確保の考え方」 「セキュリティレベル」の表現について「議会/行政機能:レベル1・2」と「市民利用機能:レベル1・2」が違うものなら分けなくてはいけないと思います。会話の際に「レベル1」って阿吽の呼吸で使うと思いますが、違う位置付けのものなので混乱を生じると思います。紛らわしい記載は報告書の段階で意識的に直した方が良いと思います。	「議会/行政機能:レベル1・2」と「市民利用機能:レベル1・2」の表現を改めるとともに、区分イメージ、棟内配置別イメージを修正のうえ、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
16	恒松良純 委員	資料4 24ページ	「表2 低層部に整備する機能(想定)」 現状の庁舎で充足している点や不足している点がわかると良いと思います。具体的な記載は不要ですが、巻末資料などがあっても良いと思います。	「表2 低層部に整備する機能(想定)」を修正することとし、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
17	齋藤敦子 委員	資料4 24ページ	「表2 低層部に整備する機能(想定)」 「イベント・ギャラリー」は大学を活かしてもっとクリエイティブな仕組み(例:リビングラボ)にして欲しいと思います。 「飲食・物販」はフードロス0を目指すなど、サステナビリティのショーケースとして市民参加と啓発の場にしてもよいのではないのでしょうか。 このあたりはアイデアレベルですが、既に海外では実践例もあり、それが市民協働の次のステージともなっています。	低層部の事業内容のあり方は事業者との協議の中で詳細を検討することとしており、設計における事業者選定の段階等で検討いたします。

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
18	青木 ユカリ 委員	資料4 24ページ	<p>「表2 低層部に整備する機能(想定)」</p> <p>委員会の時にも触れた記憶がありますが、項目名の「機能」と「分類」の欄に記載のある各機能の表現についてそのままのようです。</p> <p>「内容」にどの程度具体的に書きこむのかかわりかねますが、ラウンドテーブルや市民からも提案が出ていたと思いますが、それらと符合するものになっているのか、少々気になりました。</p> <p>いいアイデア(提案)がもれていなければという点からの意見です。</p>	<p>「表2 低層部に整備する機能(想定)」を修正することとし、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認くださいこととします。</p>
19	錦織 真也 委員	資料4 29ページ	<p>「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆少子高齢化・予算規模縮小を見越した市内全体の施設の再編に伴う面積、集約組織の調整 ◆文書保管、ペーパーレス化の建築的対策 <p>などがあると思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認くださいこととします。</p>
20	恒松 良純 委員	資料4 全体	<p>この報告書が設計者選定の際の設計条件として活用されるイメージでしょうか。</p> <p>対応(設計)へのやや具体的なリクエストと検討事項が時々、混在している印象があります。</p> <p>重要度で並んでいるならそれで良いですが、重要な検討事項から順に、対応してほしいリクエスト順にすると良いと思います。</p>	<p>設計者選定にあたっての設計条件の整理等については、本報告書を基に、本市や市民意見等を踏まえて策定する基本計画にて記載する予定です。</p> <p>基本計画の策定にあたって、今後、参考にさせていただきます。</p>

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
21	山 浦 正 井 委 員	資料4 全体	<p>今回の報告書修正案(以下「修正案」という。)は、基本構想をベースにしながらかこれまでの検討委員会(以下「委員会」という。)での議論・検討結果を取り込みつつ、基本構想策定時点からの時間的経過等に伴い高騰することが見込まれる設計・建設関連経費の抑制に向けて、苦勞して纏められた検討内容だと受け止めました。</p> <p>修正案では、当初基本構想で計画していた庁舎の中から「新本庁舎と上杉分庁舎に集約する組織・人員の再検討」と、「新本庁舎での駐車場整備のあり方」の2点を大きな柱に種々検討され、庁舎規模の適正化(削減)により予想された整備費用の増大を抑えています。</p> <p>前者の見直しについては、基本構想の庁舎規模が確保できない場合の対応として以前より想定をしていましたが、組織間の調整、分庁舎等の将来の取り扱い、加えて整備費用には表れていない賃借料等の増について、今後十分な検討が必要となるでしょう。</p> <p>後者では、現行の勾当台公園地下駐車場を公用や来客者のための駐車場としても活用し、本庁舎内の駐車場スペースを大幅に縮小しています。この場合には、同駐車場の経営や借上料の負担等も当然考慮しなければならないわけですが、近接している利点を活かして市営の同駐車場との連携利用によって整備費用を圧縮させることができ、一般利用されている市民等からの理解が得られれば、良い対策案ではないかと思ます。</p> <p>以上、庁舎の規模及びそれを踏まえた想定整備費用を含めて今回示された修正案については、大枠として賛成です。</p>	<p>新本庁舎の規模及び整備費用については、設計等において引き続き施設機能や規模、事業手法等の精査を行ってまいります。</p>
22	姥 浦 道 生 委 員	資料4 全体	<p>公式なものだけではなく、非公式な手続きも今回は非常に大きな役割を果たしたと思ます。ラウンドテーブルやシンポについても記述を加えた方が良いと思ます。</p>	<p>本文の記載内容を見直し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。</p>

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
23	館田 あゆみ 委員	資料4 全体	<p>アフターコロナの対応を、今、盛り込んでおく必要があるのではないか、と考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「働き方」が、現在進行形で既に大きく変化していますが、コロナ収束後には、これまでと異なる様相になっていると考えられます。例えば、以下など。 ・一ヶ所に大勢集まったの会議やセミナーは減り、リモートから会議が劇的に増える。(出張や移動の時間も少なくなり、効率化も図れるため。)→ 会議室の在り方に影響 ・在宅勤務可能な人・職種が増え、自治体においてもオフィスに常に在席する人数が減る可能性が高い。→ 執務室の在り方に影響 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の市役所へのニーズにも様々な変化が出てくるのではないかと思います。物理的に市民が集まる場もちろん重要ですが、例えば、以下の検討も必要ではないでしょうか。 ・市民が遠隔の人たちと(グローバルにも)繋がりが共創できる環境の提供(箱は小さくてもパソコンや通信環境、会議システムがいつでも使える環境など)。平時以外に緊急時にも活用可能です。 ・災害対応の観点にも、感染症対策の機能追加が必要ではないでしょうか。例えば以下など。 ・リモートからでも(登庁しなくても)業務継続可能となるような仕組みの整備、最低限の職員が隔離された中で業務できるスペースの確保など 	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
24	高山 秀樹 委員	資料4 全体	建替えにあわせ、今回のコロナの例もありますことから、テレワーク等も考慮したオフィス環境の整備を推進されては如何でしょうか。	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
25	石井 敏 委員	資料4 全体	コロナ後の働き方や市民の意識の変化は何かあることも想像できますが、まったく分かりません。計画には当然入れ込めることはないと思いますが、今後の計画・設計の中でそれら社会の変化や状況の変化に対して柔軟に反映していける仕組みも必要と考えます。そのような意識も持っていることはどこかで記載しておきたいところです。	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
26	本多恵子 委員	資料4 全体	会議や委員会(市議会や有識者会議や職員会議など)にも遠隔でも可能なWEB会議が必要となると思います。 これからの会議のありかたを検討する良い機会なので遠隔会議ができる設備の導入。 職員の在宅勤務が可能になるようなテレワークの導入に必要な設備も検討。 感染症対策は現在も必要な課題、これから何年かはコロナの対策が必要になると思います。 今後も新たな感染症が発生することも充分にあるので、今回の教訓を生かして隔離できる部屋や設備などの検討。	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
27	伊藤清市 委員	資料4 全体	他の委員もかかれていらっしゃいますが、コロナ後の社会を見据えた事項を追加すべきか と思います。特にリモートワークについては障害がある職員の選択肢の拡大、また自力通勤 要件があり現在採用選考対象外である重度障害者の門戸を広げる意味もあると考えます。 ぜひハード、ソフト両面で検討していただきたいと思います。	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくことと します。
28	姥浦道生 委員	資料4 全体	・コロナ対策に伴う社会の変化への対応についても記述する必要があると思います。我々はこの1ヶ月間で、会議の9割がオンライン方式になりました。「10年後のことなのでまだよくわからない」と言っていたことが、この1ヶ月ですべて現実になっています。この流れは、この問題が終息した後も、5Gの導入などを考えると、確実に残ります ・いまはセキュリティ上の課題から市役所の会議はほとんどオンライン会議になっていないようですが、世の中の流れはそうですので、市役所も遅かれ早かれ、この流れについていかざるを得ないこととなります。 この基本計画にすべてを盛り込むことは困難だと思いますので、ここでは一般論(=「コロナ対策を契機としたオンライン化の状況を踏まえて再検討」)を示すにとどめるにせよ、早急に執務室・会議室のあり方を見直すべきです。	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくことと します。
29	高木理恵 委員	資料4 全体	報告書のどの部分に対する意見にあたるのか分らなかったのですが、今回の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大学でもオンラインで会議や授業が行われるようになり、資料やプリント等を電子データでやり取りしてパソコン画面で確認するようになりました。 このような機能・設備が新本庁舎にも必要ではないかと思いました。	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくことと します。

【第8回検討委員会資料に対する各委員意見】

No.	委員名	項目	意見等	回答
30	増田 聡 委員	資料4 全体	今回のコロナ禍等を考えると、緊急時(庁内感染時)の庁舎運用(閉鎖面積に応じた事業継続、汚染ゾーニング、空調…)について、詳細は難しいですが、何らかの試算をして、規模算定の補足資料を用意すべきと考えます。	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。
31	青木 ユカリ 委員	資料4 全体	アフターコロナの観点から、館田委員のご意見に賛同いたします。 今回のコロナ対応の経験から、働き方やコミュニケーション方法の変化をふまえ、執務室のあり方やオンライン会議の日常化、在宅勤務の可能性など、その他対応可能な環境設定について触れていた方が良かったと思います。	「7 今後の設計に向けた課題・検討事項」に追記し、次回開催の第9回検討委員会において再度ご確認いただくこととします。